

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 17名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

・事業所が2階にあり階段での昇降はあるが移動の際に転倒が無いよう職員がサポートを行っている。人員については法令上の基準を満たしているが、下校時間や曜日によって送迎や、安全管理上で十分ではないと感じる場面もあるため、近隣の同法人内の他事業所との連携や自事業所での更なる工夫を行っていく必要がある。

○業務改善

・支援前のミーティングの時間を確保し個々の利用者について状態を共有することができている。支援後の振り返りは送迎の都合で実施が難しいが気になる事例、情報については職員間での共有を行っている。

○適切な支援の提供

・個別支援計画に沿い、全員が個別目標確認ができている。
・利用者とのコミュニケーションの中で得た人気の活動などを取り入れたり、利用者同士の話し合いの場を設けて活動内容を決めたりと主体性を大切にしている。また進路選択、自立を念頭においての集団活動を設定している。

○関係機関や保護者との連携

・保護者とは随時連絡を取り合い、共有を図っている。送迎時や面談時に保護者と密にコミュニケーションが取れている。学校や相談支援事業所等の連携は感染状況拡大防止の為に制限していたが、一部の事業所とは対面での情報共有を再開している。

○保護者への説明責任等

・毎月ニュースレターで前月の活動報告と次月の活動予定をお知らせしている。また、送迎時に活動の様子を動画や写真を見せるなどで共有している。契約時に重要事項を説明し、同意を頂いた上で契約している。感染症の流行の懸念もあるが保護者会、療育参観の開催も再開していきたい。

○非常時等の対応

・月1回の避難訓練では、地震・火災・水害などに加え不審者対応など様々なケースを想定している。虐待・身体拘束防止研修を教室で定期的実施しているが、マニュアルも含め保護者への周知には課題が残る。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

・体制については、概ね適正であるとの回答を頂いているが、もう少し人数を配置して頂きたいとの意見もある。また建物の構造上、階段を使用することに安全面からの懸念があるとの意見を頂いている。

○適切な支援の提供

・概ね肯定的な意見を頂いている。内容については季節のイベントも取り入れてくれている、等魅力的だとの意見も頂いている。放課後児童クラブや障がいのない子供との活動については、感染症対策の観点からも現在は交流は無く、いいえ、どちらとも言えないに回答が分かれている。

○保護者への説明等

・毎回当日の状態を丁寧に伝えてくれている、わからない事の質問に対してもきちんと応えていただいている、等の肯定的な意見を頂いている。

○非常時等の対応

・避難訓練の実施については、適切な対応ができているとの肯定的な意見を多く頂いているが、各種マニュアルの説明、周知については見たことがないのでわからないとの意見があるように周知が不足している。

○満足度

9割以上の方から肯定的な評価をいただいております、安心して預けられる、学校とは違う社会で大切な居場所です、とのご意見を頂いている。

また子どもや親への対応も親しみやすいとの意見をいただいております。

昨年度の振り返り

○今年度に取り組む具体策

- ・支援終了後の振り返り時間の確保。
- ・関係機関との連携や地域施設との交流。
- ・緊急時や感染症対応について、職員や保護者への周知。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・個々の職員による支援終了後の振り返りや、翌日のミーティングにて振り返りの時間を確保してはいるものの、職員全体での振り返りは充分とは言えない。
- ・相談支援事業所の訪問や自治体開催の連絡会に参加したり、課外活動として地域施設を利用したり、交流する場面はあるものの、定期的な交流はできていない。
- ・緊急時の対応等のマニュアルがあることは職員に周知しているが、内容の理解は充分ではない。また、保護者への周知は前期保護者会を行えていなかったため、周知しきれていない。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・利用者の主体性を大切に、進路選択、自立を念頭においての集団活動を設定している。
- ・利用者の状況を随時共有し保護者との連携強化に取り組んでいる。
- ・支援の振り返りや利用者の状況を職員間で積極的に連携を行う事で支援の向上を心がけている。

○改善点

- ・感染症対策に配慮しつつ、課外活動を再開することができたが、長期休暇の活動プログラムが固定化してしまう傾向がある。
- ・地域との交流、学校や各種連携機関との情報共有の再開。
- ・緊急時の対応等のマニュアルの周知。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・長期休暇の活動プログラムが固定化してしまう傾向があるため、社内ツールの療育活動記録等を参考に工夫する。
- ・地域の中の1つの施設としての取り組みを充実させる。
- ・関連機関との連携を図り、子どもへの支援の充実を図る。
- ・緊急時の対応等をマニュアルに乗っ取り実施していることを周知する。

○1年間で取り組む具体策

- ・社内ツールの療育活動記録を月ごとに担当制で取り入れたい活動を共有する教室内ミーティングを行う。
- ・保護者の方の協力を得て、各種関連機関と都度連絡のとれる関係を作る。
- ・ブログやニュースレター等で、避難訓練の様子や、マニュアルについて周知を行う。